

コンパイルの環境設定とコンパイル手順・提出手順

1	RENANDI を開きログインする。 https://renandi.ipc.ibaraki.ac.jp/renandi/ 最初の画面にリンク先が表示されている。	1 5	.課題を保存するフォルダを作成する。上で作成したフォルダ位置kadaiでkと入力するとフォルダ名を聞いてくるので、NoXX.YYT30ZZ? のように指定されたフォルダ名を入力する。今回 XX は 01、ドット以下は自分の学生番号。
2	プログラミングの授業 (T8324) を開く。	1 6	フォルダ src の下に makefile がある。 Z:\src\BCC\makefile このファイルを上で作成した課題フォルダへ複写する。sample1 の中にも makefile がありますが、こちらは複写しないでください。エラーになります。
3	教材を開く。		
4	教材 (ダウンロード) の 3 ファイルをダウンロード。	1 7	15 番で作成した課題フォルダへ移動して、makefile を選択する。
5	コンパイラ(Soft.lzh)とソースプログラム例題(src.lzh)を Lhaplus 解凍にドラック&ドロップして解凍する。解凍したフォルダはデスクトップに出来るので、それらを z ドライブの先頭に移動する。	1 8	次にシフトキーを押したまま Ent キーを押す。Terapad エディターが起動します。makefile が編集できますが、これはそのままにして、ファイル(F)のメニューから新規作成を選択してください。新しいファイルが作成できます。
6	Z:\Softのフォルダにstartbcc.batがあるのでそれを z ドライブの先頭に複写する。	1 9	新しいファイルの保存をします。ファイル(F)の名前を付けて保存を選らぶ。ファイル名はmain.cと指定する。拡張子.cは指定しなくても.cが自動的に付きます。
以上で環境設定終了 以下は C 言語の簡単なコンパイル方法		2 0	RENANDI にアップされた課題 1 を参考に、main.c の内容を完成させて下さい。
7	startbcc.bat をダブルクリックして起動する。	2 1	main.c の内容を全部入力したら、上書き保存して下さい。
8	DOS 画面が表示され環境設定が行われる。	2 2	make を入力します。
9	DOS 画面から df と入力する。df (ファイラー) が起動する。	2 3	エラーが無ければ実行ファイルの aout を行ってください。自分の名前が表示されればOKです。
1 0	ファイラーの画面から、src の下の BCC の下の sample1 へ移動。	2 4	エラーが表示された場合には、間違いがあるので、main.c の内容を良く見て、変更して上書き保存、22 番に戻ります。
1 1	df 画面から x と入力する。新しい DOS 画面が現れる。この時、DOS は df と同じフォルダ位置となる。	以下はコンパイルが成功し 提出ファイルを作成する方法	
1 2	DOS 画面から make と入力。コンパイルが開始する。	2 5	コンパイル及び実行が成功したら提出ファイルを作成します。こちらは df ではなく Windows のコンピュータメニューから z ドライブフォルダを表示して、さらに 15 番で作成した課題フォルダを表示します。
1 3	エラーが無ければ、aout と入力する。実行が行われる。	2 6	課題フォルダをデスクトップにある Lhaplus 圧縮ヘドラック&ドロップして下さい。
以上が簡単なコンパイル方法 以下は課題を作成する具体的な方法		2 7	デスクトップに課題フォルダの課題 lzh ファイルが作成されます。
1 4	自分が作る課題を保存するフォルダを作成する。例えば、z:\src\kadai を作る場合は、df から z:\src へ移動して k と入力する。作成するフォルダ名である kadai を入力すると新しいフォルダができる。	2 8	RENANDI の該当する課題へ課題 lzh ファイルを提出してください。提出するファイル名は一般的な表現では NoXX.YYT30ZZ?.lzh です。ドットが 2 か所にあります。